

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	奈良こども療育学園 びりーぶ (児童発達支援)		
○保護者評価実施期間	R8年 2月 10日		R8年 3月 3日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	54	(回答者数) 54
○従業者評価実施期間	R8年 2月 9日		R7年 3月 2日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	R年 3月 19日		

○ 分析結果

	事業所の強み (※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	感覚統合遊具を設置し広い療育室でのびのびと楽しめ、セラピスト常勤で神経学的な感覚統合アプローチが行えること。	職員研修、勉強会を実施して職員の知識・技術の向上に取り組んでいる。構造化したプログラムを提示し緩急のある季節感のある活動内容にも心がけている。	学ぶための環境整備に取り組んでいる。
2	24時間療育相談ホットラインを開設している。	「24時間療育相談ホットライン」を携帯電話とLINEで受けているので多くの方にご利用いただけている。	意識して対応している。
3	季節に合ったイベントの開催。	夏祭りは家族で参加して楽しんで頂いている。	予算をかけて充実を図っています。

	事業所の弱み (※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	送迎ができない。	不便に感じられている方もいらっしゃると思うが個別療育に力を入れているので送迎を行っていない。	送迎して頂きやすい様に駐車場・駐輪場を拡充。
2			
3			

公表 護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 奈良こども療育学園びりーぶ（児童発達支援）

公表日 R8年 3月 27日

利用児童数 54名 R8年 2月 10日

回収数 54

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	54					
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	53	1		1	・他所よりも手厚い。・たくさんの先生配置、感謝です。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	51	1		2		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間になっていると思いますか。	54					
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	51	2		1	・預ける際のお願いが聞いてもらえなかったことがあり、悩んだことがあり少し不安に感じるところがある	できるだけ対応出来るようにいたします。さらに丁寧な説明にも努めます。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	53			1		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	53	1				
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	50	1		3		
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	52			2		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	51	1		2		
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	28	7	2	17		
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	53			1		
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	53			1		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	50			3		
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	51	1		2		
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	49			5		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	52	1		1	・いつも話を受け止めてくださり嬉しい。	
18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	40	3		11	・保護者会で役立つ話からリフレッシュできる話まで聞けてとてもいい機会でした。		

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	46			6	・LINEでいつも相談できるので安心感がある。	
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	49	1		2		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	37	2		13		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	46			6		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	49	1		2		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	22	1	1	28		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	40	2		10		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	40	1		11		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	51	1				
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	47	3	2	1	・子どもは、通園の日やイベントをとて楽しみにしています。・「今日、びりーぶ？」と聞いてきて楽しみにしています。他所よりも楽しいと言っています。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	52					

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	奈良こども療育学園びりーふ（児童発達支援）			公表日	R8年 3月 27日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	<input type="radio"/>		のびのび過ごせる様に広く設営している。	
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	<input type="radio"/>		個別なので1対1を心がけている。	今後、職員の増員も考えている。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	<input type="radio"/>		常に視覚的に構造化した環境設定を心がけている。	さらに子どもたちのことを考え配慮していきたい。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	<input type="radio"/>		清掃（片付け、整理、アルコール清拭）は毎日している。	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	<input type="radio"/>		パーテーションで安心できる空間を用意している。	
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	<input type="radio"/>		PDCAサイクルを意識するために空き時間にミーティングや個別カンファレンスを施行している。	引き続き施行したい。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>			
	8 職員の意見を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>			
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		月1回第3者委員会を開き風通しよくする様に工夫している。	
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	<input type="radio"/>		週1回の勉強会、年2回の研修会を実施している。	欠席した職員に向けた質の高い資料を作成したい。
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	<input type="radio"/>			
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	<input type="radio"/>		児発管中心に作成している。	
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	<input type="radio"/>		意識して検討している。	引き続き行なっていきたい。
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	<input type="radio"/>		しっかり共有できるよう共有の仕方を常に吟味している。	
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	<input type="radio"/>			引き続き確認していきたい。
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	<input type="radio"/>		できる限り支援内容を留意できる様努力している。	引き続き努力していきたい。
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	<input type="radio"/>			
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	<input type="radio"/>		常に主なプログラムを考え2週間単位で変えている。	引き続き豊かな活動内容を提供していきたい。
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	<input type="radio"/>		先ず、こどもの状態をしっかり把握している。	今後も努力していきたい。
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	<input type="radio"/>		短時間だが必ず打ち合わせができる様に時間を作っている。	今後も努力していきたい。
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	<input type="radio"/>		できる限りできる様に時間をとって共有している。	今後も努力していきたい。
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	<input type="radio"/>		できる限りできる様に時間を作っている。	今後も努力していきたい。
	23 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	<input type="radio"/>		必ず施行しファイリングしている。	
24 障害児相談支援事業所のサービスマン会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	<input type="radio"/>		参画したいが、あまり呼ばれることがない。	呼ばれれば、積極的に参画したいと考える。	
25 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	<input type="radio"/>			現在、体制は整っていないが連携したいと考えている。	
26 併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	<input type="radio"/>		保護者から依頼があれば個別対応している。	継続して行きたい。	

関係機関や保護者との連携	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		意見書を渡している。	継続して行きたい。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	○			
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		○		
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		必ず療育終了後、保護者にフィードバックをしている。	引き続き力を入れていきたい。
保護者への説明等	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		個別に行なっている。また、保護者研修会でも行なっている。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時に必ず行なっている。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		面談時間をとりその機会にしている。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		同意書を作成し署名いただいている。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		対面相談やLINEで対応している。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	△		保護者向けに茶話会を開催している。	きょうだいに対しては今後、イベントを利用するなど検討していきたい。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		即、対応するよう心掛けている。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		ホームページやLINEでの発信を心がけている。	引き続き心がけていきたい。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		留意心がけている。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		色々なツールを使用している。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○			今後、検討していきたい。
	非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		
46		業務継続計画 (BCP) を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○			
47		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		利用開始時に必ず確認し書面共有している。	
48		食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		利用開始時に必ず確認し書面共有している。	
49		安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		いつでも見ていただける様にファイリングしている。	
50		こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		いつでも見ていただける様にファイリングしている。	
51		ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		検討会議を開いている。	
52		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		研修会を開いている。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		身体拘束は基本行わない。		

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	奈良こども療育学園 びりーぶ (放課後等デイサービス)		
○保護者評価実施期間	R8年 2月 10日		～ R8年 3月 3日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	27	(回答者数) 27
○従業者評価実施期間	R8年 2月 9日		～ R7年 3月 2日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	R年 3月 19日		

○ 分析結果

	事業所の強み (※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	感覚統合遊具を設置し広い療育室でのびのびと楽しみ、セラピスト常勤で神経学的な感覚統合アプローチが行えること。	職員研修、勉強会を実施して職員の知識・技術の向上に取り組んでいる。構造化したプログラムを提示し緩急のある季節感のある活動内容にも心がけている。	学ぶための環境整備に取り組んでいる。
2	24時間療育相談ホットラインを開設している。	「24時間療育相談ホットライン」を携帯電話とLINEで受けているので多くの方にご利用いただけている。	意識して対応している。
3	季節に合ったイベントの開催。	夏祭りは家族で参加して楽しんで頂いている。	予算をかけて充実を図っています。

	事業所の弱み (※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	送迎ができない。	不便に感じられている方もいらっしゃると思うが個別療育に力を入れているので送迎を行っていない。	送迎して頂きやすい様に駐車場・駐輪場を拡充。
2			
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	奈良こども療育学園びりーぶ（放課後等デイサービス）
------	---------------------------

公表日 R8年 3月 27日

利用児童数 27名 R8年 2月 10日

回収数 27

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	26	1				
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	26	1				
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	27					
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	27					
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	27					
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	26	1				
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	25	2				
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	22	5				
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	26	1				
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	27					
11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	11	8	5	3			
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	27					
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	27					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	25	1		1		
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	27				・親身に相談に乗っていただきとても心強い。	
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	26	1				
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	27					
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	23	3		1	・もう少し機会がふえれば。 ・きょうだいへの支援があれば嬉しい	さらに幅広く対応できる様に検討していきたいと思います。
	19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	26			1		
	20 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	25					
	21 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	18	4		3		

	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	25					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	11	5		9		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	7	7		11	・どのような取り組みをされているのかわからない。	わかりやすい活動になるように努めます。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	19	3		3		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	21	2		2		
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	25					
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	21	4				
	29	事業所の支援に満足していますか。	25					

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日			
奈良こども療育学園びりーふ（放課後等デイサービス）		R8年 3月 27日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	<input type="radio"/>		のびのび過ごせる様に広く設置している。	
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	<input type="radio"/>		個別なので1対1を心がけている。	今後、職員の増員も考えている。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	<input type="radio"/>		常に視覚的に構造化した環境設定を心がけている。	さらに子どもたちのことを考え配慮していきたい。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	<input type="radio"/>		清掃（片付け、整理、アルコール清拭）は毎日している。	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	<input type="radio"/>		パーテーションで安心できる空間を用意している。	
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	<input type="radio"/>		PDCAサイクルを意識するために空き時間にミーティングや個別カンファレンスを施行している。	引き続き施行したい。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>			
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>			
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		月1回第3者委員会を開き風通しよくする様に工夫している。	
10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	<input type="radio"/>		週1回の勉強会、年2回の研修会を実施している。	欠席した職員に向けた質の高い資料を作成したい。	
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	<input type="radio"/>			
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	<input type="radio"/>		児発管中心に作成している。	
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	<input type="radio"/>		意識して検討している。	引き続き行なっていきたい。
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	<input type="radio"/>		しっかり共有できるよう共有の仕方を常に吟味している。	
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	<input type="radio"/>			引き続き確認していきたい。
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	<input type="radio"/>		できる限り支援内容を留意できる様努力している。	引き続き努力していきたい。
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	<input type="radio"/>			
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	<input type="radio"/>		常に主なプログラムを考え2週間単位で変えている。	引き続き豊かな活動内容を提供していきたい。
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	<input type="radio"/>		先ず、こどもの状態をしっかり把握している。	今後も努力していきたい。
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	<input type="radio"/>		短時間だが必ず打ち合わせができる様に時間を作っている。	今後も努力していきたい。
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	<input type="radio"/>		できる限りできる様に時間をとって共有している。	今後も努力していきたい。
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	<input type="radio"/>		できる限りできる様に時間を作っている。	今後も努力していきたい。
	23 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	<input type="radio"/>		必ず施行しフィードバックしている。	
	24 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	<input type="radio"/>		必ず組み合わせている。	
	25 こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	<input type="radio"/>		常に心がけて周知に繋げている。	
	26 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	<input type="radio"/>		参画したいが、あまり呼ばれることがない。	呼ばれば、積極的に参画したいと考える。

関係機関や保護者との連携	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。		○		現在、体制は整っていないが連携したいと考えている。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。		○	LINEを使用して行なっている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。		○		今後何らかの方法で情報共有と相互理解に努めたい。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。		○		例がないが、今後考えていきたい。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		○		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		○		
保護者への説明等	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		○		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。		○	必ず療育終了後、保護者にフィードバックをしている。	引き続き力を入れていきたい。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		○	個別に行なっている。また、保護者研修会でも行なっている。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。		○	契約時に必ず行なっている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。		○	面談時間をとりその機会にしている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。		○	同意書を作成し署名いただいている。	
非常時等の対応	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。		○	対面相談やLINEで対応している。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		△	保護者向けに茶話会を開催している。	きょうだいに対しては今後、イベントを利用するなど検討していきたい。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。		○	即、対応するよう心掛けている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。		○	ホームページやLINEでの発信を心がけている。	引き続き心がけていきたい。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。		○	留意心がけている。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。		○	色々なツールを使用している。	
非常時等の対応	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		今後、検討していきたい。
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。		○		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。		○		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。		○	利用開始時に必ず確認し書面共有している。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		○	利用開始時に必ず確認し書面共有している。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。		○	いつでも見ていただける様にファイリングしている。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。		○	いつでも見ていただける様にファイリングしている。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。		○	検討会議を開いている。	
非常時等の対応	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。		○	研修会を開いている。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。		○	身体拘束は基本行わない。	